

【ESD 学習支援活動】

平成 29 年度 大阪市中学校第 4 ブロック生徒会研修会 実施報告書

英語教育専修一回生 櫛 乃里花

1. 日 時：平成 29 年 12 月 25 日（月） 14:00～16:00
2. 場 所：大阪市新北野中学校（大阪市淀川区新北野 2-13-37）
3. 参加学生：学部 4 回生 口脇 和、田中晴日、谷垣 徹（英語教育専修）
学部 1 回生 下原 舞、守部北斗、櫛 乃里花（英語教育専修）
4. 参加生徒：第 4 ブロック 18 中学校生徒会代表者（各学校会長、副会長合わせ 2～3 名）
5. 目 的：・第 4 ブロック内の各中学校の生徒会同士の交流を深め、今後より良い生徒活動をするためにはどうすればよいか共に考え、第 4 ブロックの生徒会活動の活性化につなげる。
・次年度、第 4 ブロック全体での生徒会交流会の実施などに向けて、今回の研修会を通じて実態調査を行う。

6. 活動支援内容

平成 29 年度大阪市中学校第 4 ブロック生徒会研修は以下のプログラムで行われた。

- (1) 自己紹介とアイスブレイキング
- (2) 各生徒会活動紹介
- (3) 高等学校の生徒会活動紹介
- (4) グループワーク



グループワークの様子

私たち奈良教育大学ユネスコクラブの学生 6 名は大学生スタッフとして支援にあたった。大学生が関わって研修会を行うのは大阪市内で初の試みである。時間こそ短かったものの、自己紹介とアイスブレイキングをすべて私たちに任せていただけたり 1 グループに 1 人学生がついてグループワークに参加させていただいたり非常に濃密な支援であった。

さて、この研修会での支援を通して感じたことを、以下の 3 点で振り返る。第 1 に研修会の雰囲気づくりについて、第 2 に生徒たちの熱意について、第 3 にユネスコクラブの活動意義についてである。

第 1 の研修会の雰囲気づくりについてであるが、生徒たちのほとんどが互いに初対面であったため開会直後の会場の空気はかなり緊張していた。しかし私たちの行った自己紹介ゲームやアイスブレイキングによって、場をあたため生徒たちの緊張も解すことができたように感じた。これまでの活動で培ってきたゲームのスキルを存分に発揮できたのではないだろうか。その後の活動をグループで協力して行うためには最初の雰囲気作りが重要であるということを学んだ。

第 2 に生徒たちの熱意についてであるが、グループ内で各中学校の生徒会活動を紹介する際に生徒たちがどれだけ自分たちの活動に誇りを持っているかという熱量を感じさせられた。またこれからやってみたい活動について話し合った際も、他の学校の取り組みからいいところを真似よう、参考にしよう積極的に意見を交換したり真剣にメモを取ったりする姿が見られた。

第 3 にユネスコクラブの活動意義であるが、今回大阪市の中学校という県をまたいでの支援をさせていただけたことは、ありがたいと共にユネスコクラブの知名度が上がっているということの証拠ともいえるだろう。私たちの活動の根本は ESD であり、様々な活動に対しそれがどう ESD と関連しているのかということについて考える必要があるように感じる。他府県の方々にも、ユネスコクラブという名前だけでなく ESD に関する実践的な活動についても知っていただきたいと考えた。様々な依頼をいただき活動の機会も増える中で、ユネスコクラブそのものの根本をより大切にしたいと思った。